

令和元年8月分（4件）

【市を挙げての対策を望みます。】

内容	夏の館山！ 南房館山に住んでいます。 現在、館山は、NHK 天気予報「関東の行楽地」に、指定されています。 昔、国鉄「内房西線」が、開設されていました。 それまでは、海路が、江戸、東京への交通機関でした。 東京の、竹芝桟橋から、東海汽船が、出ていたといひます。 房総西線は、国鉄の両国駅が、汽車の始発駅でした。 夏の、避暑地としても、発展してきました。 東京地域の大学学生寮や、企業の保養寮などが、沢山あります。 ところが、今年は、「海の大腸菌汚染」で、騒がれています。観光地としては、致命的でしょう。 改善が、喫緊の課題です！ 市長、行政は元より、教育、マスコミ、市民、団体等、南房総地域挙げての、努力が必要であります。 館山市長が、音頭をとって、地域全体で、早急に、取り組んで欲しいと思います。喫緊の課題ではないでしょうか？ 【R1. 8. 13 受理】
回答	今年度実施された海水浴場開設前の水質検査結果（北条海水浴場）についての事だと思われませんが、この水質検査は千葉県により実施されています。 検査は2日間実施され、晴天の波穏やかな日に実施することが原則とされています。 ところが、今回の検査日のうち、1日は、1時間あたりの降水量が10mmを超える中、実施されました。一般的に、雨が降ると河川からの流入が増え、川底の土砂が攪拌されて海に流れ込むことなどにより、検査の結果が悪くなると言われています。また、河川上流域の水質も大きな影響をあたえと考えられます。 なお、2日目の検査結果だけでみれば、水質Aとなる結果でした。また、過去5年を見ても、北条海岸は水質AAまたはAの結果となっており、今回の結果については、特別な状況の中で行われたものであることから、大きな問題はないと考えています。 また、現在、館山市では、生活排水の浄化対策として、公共下水道の整備及び合併処理浄化槽普及促進に努めています。 公共下水道は、平成10年4月に館山駅を中心としたエリアから供用開始し、今年度も整備を進めており、現在、供用開始エリアの約8割の方が接続しています。 供用開始前と比較すると、下水道接続者の増加により、汐入川へ流入する排水路の水質も改善されているため、今回の水質検査結果については、残念な結果と受け止めています。 なお、ご意見のありました、「大腸菌汚染」ですが、公共下水道へ流入する汚水は、トイレ排水も含まれるため、相当数の大腸菌がありますが、終末処理場（鏡ヶ浦クリーンセンター）では、塩素消毒後、放流しています。 終末処理場では、大腸菌群数の測定を月4回実施しており、7月の測定結果は、各日、全て不検出となっています。（下水道の大腸菌群数の排水基準は、3,000 個/cm³以下と定められています。） これからも終末処理場の適正な維持管理を行うとともに、生活排水の浄化に関し、下水道及び合併処理浄化槽の普及促進に努めてまいります。 今後とも、館山市の環境行政についてご理解とご協力をお願いいたします。 【R1. 8. 20 回答】

【花火大会後の車両規制時刻を無視した警察官】

内容	4年振りの素晴らしい花火大会を観て、大勢のお客さんと駅に向い21時前に歩き出し寺田屋の所から車が数台出てきたので規制時間だと教えたが人を押す様に無視。渚踏切に民間ガードマンと若い警察官一人いたので停止させるよう話しましたがニヤニヤして車を通しました。21時30分まで規制を皆さんが決め、警察官が停止もさせない事はルールを市民も無視して良いのだと思いました。踏切にいた警察官に厳重な注意を願います。館山市を暮らしやすい市にするために。回答願います。 【R1.8.13 受理】
回答	交通規制は観覧者の皆様の安全確保のために行っているものであり、ご指摘のあった区域は通行許可証保有車以外の車両の通行はできないこととなっております。交通規制の解除は道路に歩行者がいなかったことを確認した上で、警察の指示により一斉解除と伺っております。 今回ご提供いただいた情報を館山警察署に報告するとともに、主催者である館山観光まつり実行委員会（事務局：館山商工会議所）へも情報提供させていただきます。 館山の夏の一大イベントである館山湾花火大会が、事故なく安全に開催されるよう、市としても尽力していきたいと考えております。 【R1.8.19 回答】

【防災無線の声】

内容	防災無線は、緊急の放送なので何をいっているのか分かりにくいと困ります。家の中に無線機があっても分かりにくい女性の方はやめてほしいです。 【R1.8.13 受理】
回答	この度はご不便をおかけしまして、大変心苦しく思っております。 市では、災害時等における情報伝達手段の一部として、防災行政無線による放送を行っています。 放送につきましては、防災行政無線の立地状況や個人の感じ方にもよりますが、一般的に男性の声より女性の声の方が聞き取りやすい（声が通りやすい）とされていることから、館山市ではできるだけ女性の声による放送を実施しております。 放送の際には今後も検討を重ね、市民の皆様に聞き取りやすい放送に努めて参りますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 なお、防災行政無線の補完といたしまして、防災行政無線の放送を文字でお届けする「館山市 安全・安心メール」も運用しております。「t-tateyama@sg-m.jp」に空メールを送っていただき、返信されたURLにアクセスしていただくとご登録いただけますので、防災行政無線と併せてご利用いただければと存じます。 以上、ご回答差し上げますが、ご不明な点がございましたら、社会安全課危機管理室（電話 0470-22-3442）へお問い合わせくださいますようお願いいたします。 【R1.8.15 回答】

【タコ足庁舎】

内容	標記の件、本庁舎に詳しく業務又は市の発している文書内容の確認について来ましたが、担当部署がかなり離れた所にあり、そちらに行ってくれと受付にて言われました。これは来庁者酷使であります。 市民の立場にたったものとは言えません。 全体の事がわかる様な人を本庁舎に置くべきです。又、そのシステムを考えるべきで
----	---

	す。 【R1. 8. 28 受理】
回答	この度は、御不便な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。 各部署の配置については、本庁舎の建物だけではスペースを確保できず、どうしても離れた場所に配置せざるを得ない部署もあることから、市民の皆様には御迷惑をおかけしてしまうことがあり心苦しく思っております。 この度、ご提案いただいた件につきましては、市民の皆様の御負担が少しでも軽減できるよう、検討してまいりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。 【R1. 8. 29 回答】